

令和元年度 第1回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

- | | | | |
|-----|-----|--|---------------|
| I | 日時 | 令和元年7月16日(火) | 16:10~17:30 |
| II | 会場 | 高志館1階研修室 | |
| III | 出席者 | 〔評議員〕 藤田 浩史(義務教育関係) 傳田 智子(上伊那広域連合)
丸田 安尉(自治会関係) 大野田文吉(同窓会関係者)
中嶋てるみ(保護者)
〔職員〕 学校長 教頭 事務長 河合(教務) 大石(進路)
登内(生徒指導) 田中(特別支援) 北原(P T A)
大槻(職場代表) | |
| IV | 次第 | (司会:教頭) | |
| | 1 | 学校長挨拶 | |
| | 2 | 本年度の本校活動中間報告 | |
| | | (1) 学習、進路指導(大石) | (2) 生徒指導(登内) |
| | | (3) 特別支援教育(田中) | (4) P T A(北原) |
| | | (5) 学校評価(大石) | (6) その他(教頭) |
| | 3 | 意見交換 | |

1 意見交換会で出された意見等のまとめ

- (1) 学校教育全般について
 - ・学校運営方針等は、何年ごと誰が考えるのか。また、その評価はどのように行うのか。
 - ・様々な問題に対応する「縦と横の連携」は具体的にどのように行われているのか。
 - ・地元(山寺区)と双方向にやり取りができ生徒を育てられるような体制を望む。
 - ・学校でSDGsに関する教育を行うことは極めて重要である。とりわけ、環境問題に関心を持ち環境意識を高められる取組をしてほしい。
- (2) 生徒指導及び基本的な生活習慣について
 - ・安全安心という観点から、学校入り口付近の道路上における自家用車の送迎は危険であるため対応を望む。
- (3) 学習・進路指導について
 - ・入学してくるある程度の力を有する子どもたちに一定水準の力をつけるという観点では、学校の取組は有効に行われているととらえている。
 - ・探究的な学びを推進するにあたっての課題、困難点、中学生に望むことはどのようなことか。
 - ・SDGsに関する教育を推進するにあたり、地域として手伝えることがあれば協力していきたい。
 - ・進路が決まらない(決められない)生徒にもきめ細かな丁寧な指導をお願いしたい。
 - ・真面目に地道に取り組む生徒も大切にしてほしい。

2 今後に向けて

- (1) 学校の様々な教育活動及び生徒の様子に関しては、一定の評価をしていただいたが、さらに改善・充実・向上を期待するご意見も数多く寄せていただいた。
- (2) 指摘を受けた「地元や地域との連携」、「道路の安全」、「学習・進路指導に対する希望」等については、校内全職員で共有するとともに、担当係等を中心に議論を深め対応等について検討・確認をしていく。
- (3) 第2回は、2月1日(土)に開催予定であるが、意見交換(協議)の時間を確保し、より多くの内容について議論が深められるようにしたい。